

くすやま美紀(樟山みき)活動報告

2016. 3. 17 NO. 185

連絡先 荻窪5-15-19-704 電話・FAX 5932-6170

区議会控室 3312-2111(内)2319



住民不在のあんさんぶる荻窪の財産交換

自民、公明、未来、平和など与党が強行!



予算特別委員会で質問

財産交換をめぐる、まだ明らかになつていない問題も残されています。あんさんぶる荻窪の存続を願う住民の願いに背を向け、道理の無い財産交換に賛成した与党の責任は重大です。

日本共産党区議団は「財産交換は、区長が荻窪駅周辺整備に国を取り込もうとして、税務署スペースを駅前に賃料無料で確保すると約束して税務署の建て替え工事を休止させたものの、移設先を確保できず、あんさんぶる荻窪を国に差し出すに至ったというのが真相であり、区長の勝手な思惑の破たんの代償として、地域に愛されたあんさんぶる荻窪を廃止することは認められない。住民の合意も得られていない」と反対しました。

区長追隨の与党の責任は重大

3月16日(水)第一回区議会定例会が閉会しました。
今議会で最大の争点となった「あんさんぶる荻窪と荻窪税務署等の財産交換」の議案について本会議で採決が行われ、自民、公明、未来、いのち平和、自民・無所属などの賛成多数で可決されました。

各会派の賛否

会派	議員	賛成	反対
自民	井口かづ子 脇坂たつや 大和田伸 今井ひろし 浅井くにお 井原太一 大泉やすまさ 大熊昌巳 小泉やすお 富本卓 はなし俊郎 吉田あい	○	
公明	渡辺富士雄 川原口宏之 島田敏光 山本ひろこ 大槻城一 北明範 中村康弘 横山えみ	○	
未来	増田裕一 安斉あきら 山本あけみ 上野エリカ 太田哲二 河津利恵子	○	
共産	原田あきら 山田耕平 上保まさたけ 金子けんたろう くすやま美紀 富田たく		○
いのち平和	そね文子 市来とも子 けしば誠一 新城せつこ 奥田雅子 川野たかあき	○	
自民・無所属	松浦芳子 佐々木浩 小林ゆみ 藤本なおや 岩田 いくま	○	
杉並わくわく会議	松尾ゆり		○
共に生きる杉並	木梨もりよし	○	
美しい杉並	田中ゆうたろう	○	
無所属	堀部やすし		○
無所属(木村)	木村ようこ		○

お困りごと、ご相談は、上記連絡先まで、お気軽にお電話ください

予算特別委員会の質疑で、区も活用の可能性を認める 財産交換せずとも大規模特養ホームは可能

予算特別委員会で、日本共産党区議団は、財産交換の問題点と、交換に頼らない特養ホーム整備のあり方について、区の姿勢を質しました。

区長の重大認識が明らかに

質疑のなかで、区長は、あんさんぶる荻窪が、長い年月をかけ、区と区民が協同でつくりあげた経過について「一緒に作ってきたというの、ちょっと私にはよくわかりません」と答弁。この間の、地域住民の要望や地域に愛された施設への無理解な態度に、傍聴席から怒りの声が上がりました。区長自らが施設の価値をまったく認識しておらず、その姿勢が住民不在の計画強行に直結していることが浮き彫りになりました。

あんさんぶる荻窪を失うことなく大規模特養ホーム整備は可能 区も認める

質疑では、財務省からの聞き取り内容を紹介し、税務署を隣地の宿舍部分に建て替え、現税務署部分の用地を定期借地で取得することで、大規模な特養ホーム整備が可能であることを示しました。区長は「いろいろシミュレーションされて（中略）まあ、そういう考えもあるかもしれない」と答弁。「計算上、机上の論理としては、そういうこともありうるかもしれない」と、財産交換に頼らない特

養ホーム整備の可能性を認めました。担当課長も「制度上できるかと思いません」との見解を示しました。

しかし、一方で、あんさんぶる荻窪を失う財産交換に固執する姿勢を示すなど、道理のない態度に終始しました。

財産交換方針の撤回を

質疑を通して、財産交換を行わなくても大規模特養ホーム整備は可能であることが明らかとなりました。区の計画を強行すれば、あんさんぶる荻窪を失う上、さらに39億円もの巨額の税金を投入し、同様の機能を持つ複合施設を建設することになります。道理のない計画は撤回するよう求めました。

区民生活の困難に 寄り添わない田中区政



（予算に対する反対討論）

アベノミクスのもと、区民のくらしは厳しさを増し、貧困と格差が広がっています。こうしたなか、安倍政権は、来年4月消費税10%増税と社会保障の改悪を計画しています。自治体の首長として、悪政に立ちまはだかり増税や社会保障改悪は止めるよう国に迫るべきですが、区長は「持続可能な社会保障制度を確立していくためには社会保障と税の一体改革は必要。中止を求める考えはない」と答え、区民のくらしの困難に寄り添う姿勢を見せませんでした。来年度も国民健康保険料や区立施設使用料が値上げとなります。日本共産党区議団は、一般会計、国保、介護、後期高齢者医療の各会計予算案に反対しました。

あんさんぶる荻窪 区と住民が協同で作り上げ 「地域に愛された」施設



敷地面積約1700㎡
延べ床面積約4300㎡
（屋上と駐輪場除く）
築10年、建設費約28億円

あんさんぶる荻窪は、設計段階から住民と区が協議して作った施設です。「学童の充実」「市民が使いやすいフリースペース」など、住民の要望が取り入れられました。公募で決まった名前には集う人が互いの個性をいかしながらこの舞台にとも輝く」との願いが込められています。施設内の児童館は、乳幼児から中高生まで年間延べ約5万6千人が利用しています。